

平成29年度滋賀県がん診療連携協議会・第2回研修推進部会 議事概要

日 時 平成29年10月20日(金) 18時00分～18時55分
場 所 滋賀医科大学医学部附属病院 4階 第4会議室
出席者 村田喜代史(滋賀医科大学医学部附属病院)
片倉浩理(大津赤十字病院)
多川晴美(滋賀医科大学医学部附属病院)
北川久美(大津赤十字病院)
高野厚子(滋賀県立成人病センター)
山崎道夫(公立甲賀病院)
中村洋美(公立甲賀病院)
田久保康隆(市立長浜病院)
山岸美紀(市立長浜病院)
武田佳久(高島市民病院)
澤井奈奈江(高島市民病院)
高見史朗(市立大津市民病院)
小林游(草津総合病院)
馬場正道(済生会滋賀県病院)
中野且敬(代理:嶋田)(近江八幡市立総合医療センター)
馬場弘道(長浜赤十字病院)
高山真一(滋賀県歯科医師会)
瀧川政邦(滋賀県薬剤師会)
三上房枝(滋賀県看護協会)
平田誠(滋賀県放射線技師会)
松井まり子(滋賀県臨床検査技師会)
野坂明子(滋賀県健康医療福祉部)
嶋田宏之(滋賀県立成人病センター)
欠席者 財間正純(滋賀県立成人病センター)
吉川浩平(彦根市立病院)
木下千恵美(彦根市立病院)
辻川知之(東近江総合医療センター)
中村隆志(滋賀県医師会)
玉井文子(滋賀県歯科衛生士会)
鈴木真理(滋賀県栄養士会)
寺田智祐(滋賀県病院薬剤師会)

オブザーバー 杉田勢津子、奥井さよ子(滋賀県がん患者団体連絡協議会)

(敬称略)

1. 報告

部会長から、次の新規部会員の紹介があり、自己紹介があった。

草津総合病院 小林 游 消化器内科医長
滋賀県歯科医師会 高山 真一 理事

部会長から、再確認のため研修推進部会の役割について次のとおり説明があった。

- (1) がんに関わる医療人の育成に関すること
- (2) がんに関する教育・研修の企画・調整・広報等に関すること
- (3) がん診療連携拠点病院等が実施する各種研修等の推進・調整に関すること（ただし、他の部会の所掌に関するものを除く）
- (4) その他研修に関すること

前回の部会（平成 29 年 6 月 5 日開催）の議事概要について、ご意見等があれば事務局までご連絡いただきたいとの依頼があった。

2. 議題

(1) 平成 29 年度の取組について

1) がん関係フォーラム、講演会等開催予定、受講人数について（資料 1-1～3）

滋賀県のサイト「がん情報しが」に毎月掲載しているがん関係フォーラム、講演会等の情報を元に、各医療圏における講演会等について過不足等の確認、検討を行った。

(大津) 大津赤十字病院では、時のテーマをリストアップし県民大学として講演会を開催している。ほかにも市民向けや看護師対象の研修会等数多く開催している。

(湖南) 成人病センターでは、毎月、一般・医療者向けにがん診療セミナーを夕方に開催し、また、一般向けにはがん教室「まなびや」を昼間に開催している。

(甲賀) がん相談支援センターでは、ウィッグ相談や社会保険労務士によるがん就労支援の相談を行っている。一般の方への計画については、今後、近隣機関との連携がこれからの課題である。

(東近江) 東近江総合医療センターでは、毎月医療従事者向けセミナーを開催している。また、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、滋賀医科大学の 3 病院共催で、11 月 3 日と 1 月 21 日に公開講座を行う予定である。

(湖北) 一般市民向けの講演会に力を入れており、7 月に市立長浜病院、長浜赤十字病院と合同で開催した研修会では、約 400 名の参加があり満足度も高く大変盛況であった。今後も、長浜赤十字病院と協力して口腔領域を含め色々ながんの講演会を実施していく予定である。

(湖西) 5 大がんのうち大腸、胃について開催する。また、昨年好評だった中学生対象のがん教室を 3 回と、緩和ケア研修会についても今後予定している。

部会長から、講演会等の情報は、毎月「がん情報しが」に掲載しているもので、引き続き提供いただくよう依頼があった。また、部会として講演会等の満足度、参加者数を確認しているので、講演会等の終了後には、同じくご報告いただくよう依頼があった。

満足度の測定方法について質問があり、事務局では、例として、5段階で測られている場合は4以上を満足として集計している旨説明があった。

また、今回400名近くの集客があった、湖北医療圏での研修会について、何か秘訣があったのかとの質問に対し、高名な講師であったことと、緩和、在宅に興味のある看護師を多く集客できたことであるとの説明があった。

2) 看護ワーキングが行うがん看護研修の実施について（資料2）

多川委員から、滋賀医科大学で5月から開始している「がん看護研修Ⅰ」について9月30日に開催の5回までが修了し、60～90名の参加があったこと、また、10月5日には「がん看護研修Ⅱ」の開講式を行い、先日、市立長浜病院での実習が修了したことの報告があった。

また、7月の地域におけるがん化学療法看護研修には23名の参加があり、無事終了したことの報告があった。

部会長より、研修Ⅰ終了後に、研修Ⅱを受講するのは難しいのかとの質問があり、拠点病院以外の看護師が受講することが望ましいが、実習を伴う長期研修の受講は難しいとの回答があった。

部会長から、がんに関するプロの看護師は必要であり、今後も是非この取組を続けてほしいとの依頼があった。

3) 国立がん研究センターの受講調整について（資料3-1～2）

部会長から、国立がん研究センターによる研修で、滋賀県の推薦が必要なものは当部会で推薦順位の調整を行っているとの説明があった。

現在、調整を要するものは、昨年度と同じく「がん化学療法医療チーム指導者養成研修」のみとなっており、今年度は彦根市立病院が採択されたとの報告があり、平成30年度、31年度の受講予定病院は、募集開始後は速やかに応募されるよう依頼があった。

（参考：推薦順位は、平成30年度：市立長浜病院、平成31年度：長浜赤十字病院）

4) 各団体の取組について（資料4）

各団体の平成29年度取組予定について報告があった。

（滋賀県歯科医師会）

- ・口腔がん検診について、滋賀県では地方自治体の協力を得るのは予算等の関係上難しいため、県歯科医師会単独で、早ければ次年度からの実施を検討している。
- ・口腔ケアに係る医科歯科連携を推進していく。

（滋賀県薬剤師会）

- ・「在宅ホスピス薬剤師」認定研修会は、今回4期目となり、28名養成予定のところ26名がホスピスの見学を除いて4日間の研修を無事終了した。
- ・その他の取組については、病院と連携しながら行っていく。

（滋賀県看護協会）

- ・全県の看護協会員を対象に、がん分野での研修会として、平成30年2月2日に乳がんをテーマにした講演会を開催予定である。医師の話と患者から意見をいただく形式での講演を企画している。
- ・がん専門の看護師が出前形式で小規模病院に出向いて研修を行うことを積極的に行っている。また、県の看護協会のホームページの中に各団体の取組について、リンクを張って情報提供を行っている。

(滋賀県放射線技師会)

- ・平成30年1月27日に開催する第3回の学術研究会は、市民公開講座として市立長浜病院の伏木先生に「あなたが選ぶがん治療」と題してお話いただく予定である。同時に、放射線治療に関する研修を合わせて行うことを企画している。
- ・県内3ヶ所で行われた健康フェスティバルに会員が参加し、放射線並びにがんに関するパネル等を展示し啓蒙活動を行った。
- ・来年度は臨床検査技師会と共催で乳がんの研修会を予定している。それぞれの領域を含めて行うこととし、詳細については今後検討する。

(滋賀県臨床検査技師会)

- ・一般の方向けにキャンサー体験を交えた啓発活動を行っており、3つのフェスティバルに参加して血糖測定、肺年齢測定などを通してパネル等でがん啓発活動を行った。
- ・11月12日に開催する「検査と健康展」に力を入れており、県へ広報を依頼する予定である。

(2) 部会の取り組み評価（中間評価）について

1) アクションプランについて（資料5）

部会長から、アクションプランで示している事項について説明があり、各事項についての中間評価（A～D）を行った。

がんに関わる医療人の育成に係る研修の検討に関しては、前回の部会で、がんのリハビリテーションに係る人材育成について協議した。

分野ごとの講演会、研修会等の過不足の改善検討に関しては、毎回本部会で検証し、改善策を検討している。

フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の検討に関しては、参加者数の増加に向けて講演会の名称を一般の方がより分かりやすくなるよう努めることとしている。

県内統一の看護研修会の実施に関しては、がん看護研修Ⅰ、Ⅱを実施中である。

全体的に計画通り取り組んでいると思われるが、新たに追加した「がんに関わる医療人の育成に係る研修の検討」については、未だ十分ではないと思われるため、全体としてはB評価とすることとなった。

2) PDCAサイクルについて（資料6）

計画（Plan）として、研修会等の参加人数、満足度を数字として掲げている。評価（check）として、一般の方向けの講演会については、多くの人に参加してもらえようサブタイトルを付けることを引き続き行っていくこととなった。

滋賀県の「がん情報が」に研修会等の一覧を掲載しており、研修会等の内容がより分かりやす

いことが大事である。分かりにくい場合は必要に応じてサブタイトルを付ける等、再度タイトルの確認をお願いしたい。

(3) その他

1) 滋賀県からの情報提供（席上配付資料）

国の「第3期がん対策推進基本計画案」を基に作成した「滋賀県がん対策推進計画」の骨子案について説明があった。

第3. がん計画の基本的な考え方の基本理念として、「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現」とし、また全体目標については国と同様としている。第4. 分野別施策および目標については、「1. がん予防」、「2. がん医療の充実」、「3. がんとの共生」、「4. これからを支える基盤の整備」の4つのカテゴリーとしている。「2. がん医療の充実」の「(9) がん登録」と「4. これからを支える基盤の整備」の「(3) がん研究」を入れかえて、がん対策推進協議会に素案を投げかけているところである。

患者本位のがん医療の実現のためには、選択でき、納得して医療が受けられるなど個別性が高くなっている。第1期、第2期では、がん医療が主であったが、第3期は、就労支援、生活に係る部分について対策を立てる事となっている。滋賀県では、平成25年のがん条例ができ、がんとの共生の分野について進めている。医療人の人材育成については、本部会でも努力いただいているが、今後を支える基盤の整備が重要となっている。本人、患者家族が納得して医療が受けられるよう講演会、研修会で情報提供していくことが大切である。国の計画では、外来での薬物療法が増加しているため、拠点病院の中で、医療従事者全てに対して薬物療法の研修会を行う事となっている。具体的にはこれから検討するとのことであり、今後本部会で相談していきたい。

今回の計画は、全国がん登録が平成28年1月から始まっており、がんの5年相対生存率も目標に上げる予定としている。患者本位のがん医療であるため、患者、家族がどう思っているかも指標になる事も考えられるが、11月13日に開催するがん対策推進協議会で委員の意見を聞いて決定していきたい。

部会長より、今後は研修会の内容について、新たなポイントとなっている観点も加味して行う必要があるのかとの質問があり、県から、緩和ケア研修会について指針が出される予定であり、グリーフケアについても盛り込む等、中身に新たなものが追加される。一般向け、医療従事者向けの研修会についても追加されたものに関して企画する必要があるかもしれないとの説明があった。

2) がん患者連絡協議会から

- ・資料2のがん看護研修Iの研修項目⑩⑪⑫について内容を知りたい。
→患者サロンのときに資料をお渡しすることとなった。
- ・資料4の各団体の取組で滋賀県歯科医師会の、がん患者（手術前/薬物・放射線治療/終末期）の口腔ケアに係る医科歯科連携の推進の中に、ビスホスホネート系薬剤関連顎骨壊死の取組についての情報も盛り込んでいただきたい。長く治療と向き合うことは、副作用とも長く向き合うことになり、副作用が起きてからの提言にも目を向けてほしい。
→ビスホスホネート系薬剤関連顎骨壊死については、歯科医師、歯科衛生士も含め副作用について知識を網羅しておりご安心いただきたい。

- ・患者サロンは、緩和の役目を果たしており、12月のフォローアップ研修には、患者のピアサポーターに加え、相談支援センターのスタッフの方にも参加していただき、協力して意見を交わしながら良い会にするため、多くの方の参加をお願いしたい。
- ・9月14日から11月28日まで、7回の予定でピアサポーターの養成講座を開催している。いろいろな講演会、フォーラムの案内があるが、ホームページを見ない人もおり、サロンの場でチラシを配付しているが、病院内にもチラシを置いてほしい。
- ・また、研修会にサブタイトルを付けることは有り難いので、分かりやすいタイトルを是非お願いしたい。

【配布資料】

(資料1-1) がん関係フォーラム、講演会等開催予定数

(資料1-2) がん関係フォーラム、講演会等開催予定情報全体版

(資料1-3) (資料1-1)において、がん内容の区分が「その他」になっているものの一覧

(資料2) がん看護ワーキンググループ活動報告

(資料3-1) 国立がん研究センター都道府県指導者研修(県の推薦が必要な研修)受講予定一覧

(資料3-2) 平成29年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(資料4) 各団体取組予定

(資料5) 滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート

(資料6) 滋賀県がん診療連携協議会PDCAチェックリスト

(参考資料) 診療支援部会 部会員名簿

滋賀県がん診療連携協議会について

前回議事概要(平成29年度 第1回診療支援部会 6月5日開催分)

(席上配付) 【国】第3期がん対策推進基本計画案(概要)

【県】第3期がん計画骨子(案)